

1. 目標

本市の景観づくりを進めるためには、市民、事業者、行政が協働で取り組むことが重要です。ここでは、第2章で整理した本市の景観の特性と課題を踏まえ、市民、事業者、行政が景観づくりに取り組む上で共有すべき目標を次のように掲げます。

■本市の景観づくりの目標

アガイティーダのまち “うるま”

～自然が華やぎ歴史が薫る、朝陽に輝くまち～

アガイティーダとは東から昇る（アガイ）太陽（ティーダ）のことをいいます。

東海岸に昇る朝陽を拝する位置にある本市は、沖縄本島の東にある美しく輝けるまちとして訪れる人をやさしくうおし癒します。美しい朝陽、豊かな海や緑が織りなす自然景観、長い年月にわたり積み重ねられてきた歴史・文化的景観、今を生きる私たちの活動が生み出すくらしの景観を、本市に関わる全ての人々の共有財産として大切にし、後世に受け継いでいきます。



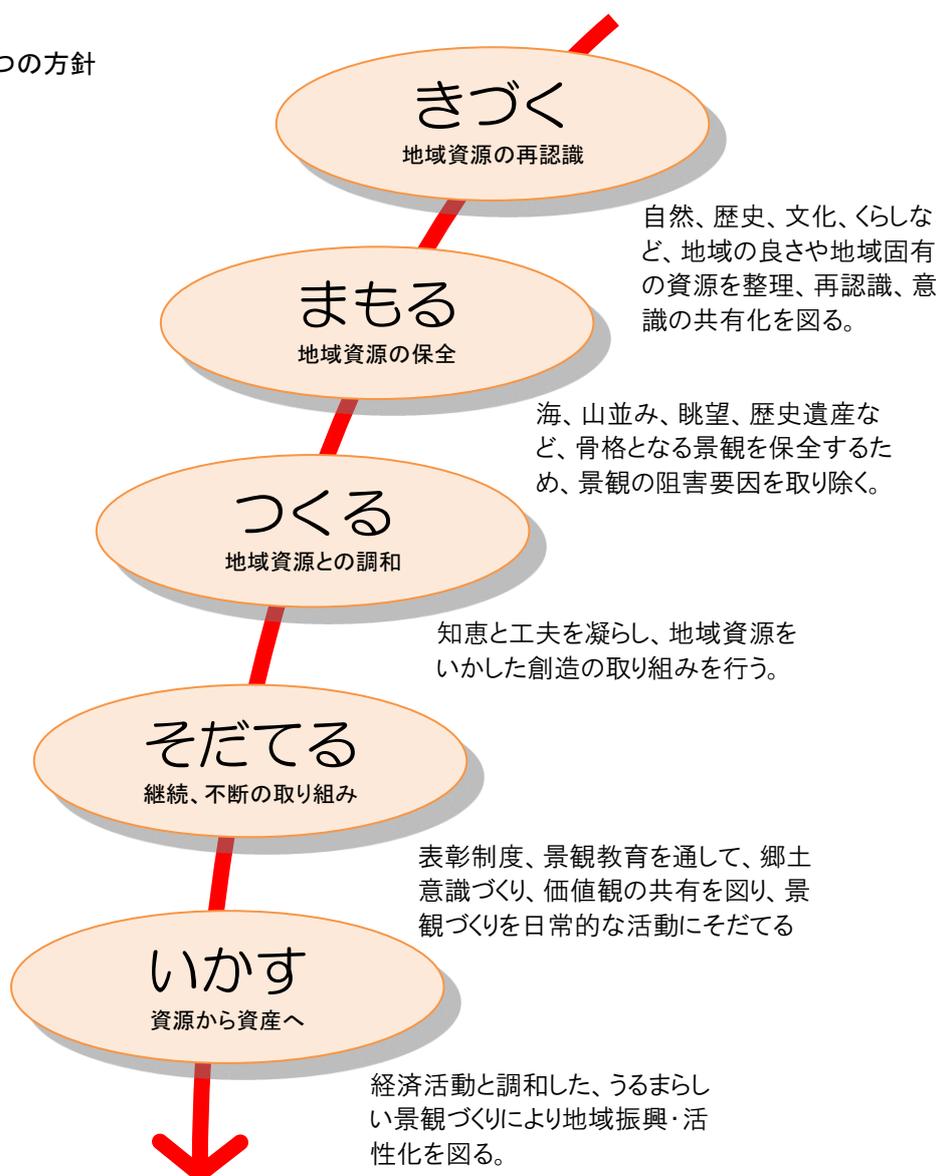
東海岸の平安座島から昇る朝陽（出典：景観まちづくりアンケートで市民から投稿いただいた写真、日付不明）

2. 全体方針

景観は、市内で生活し、活動する人々の暮らしぶりによって大きく変化します。1. で掲げた目標を実現するためには、まず、人々が景観に対する良さに「きづき」、景観づくりを意識した取り組みを広げることが重要となります。また、より良い景観づくりを進めるためには、自然・歴史といった古き良きものを「まもる」こととあわせ、新しいものを「つくる」、良いものを「そだてる」、景観を地域資源として「いかす」といった視点も重要となります。

ここでは、こうした考え方を踏まえ、本市の景観づくりを進める上で基本となる視点を5つの方針に整理しました。本市で生活・活動する市民、事業者、行政は、この5つの方針を念頭に置き、個別具体の景観づくりに取り組むことが求められます。

■全体方針の5つの方針



アガイティータのまち “うるま”
～自然が華やぎ歴史が薫る、朝陽に輝くまち～

1) 景観にきづく

①うるまの美しい景観にきづく

- ・景観づくりを進めるためには、まずきづく(気づく)ことが大切です。本市には、海や川、緑などの美しい自然、世界遺産の勝連城跡に代表される歴史遺産、伝統的な佇まいが残る集落、地域に根ざしているエイサーや闘牛などの伝統文化等々、多彩で特色ある美しい景観が数多くあります。こうしたうるまの景観を市民共有の財産として認識できるよう、景観づくりの主役である市民、事業者、行政等の景観に対する意識醸成を進めていきます。



海中道路デッキからながめる夕日(与那城)



津堅集落(勝連津堅)

②身近な景観にきづく

- ・普段何気なく目にしてている身近な風景を観察して、好きな風景、癒される風景などを探したり、その風景の背景にある地域の歴史・文化・人々の暮らしなどを理解することにより、良好な景観づくりの鍵を見つけることができます。



うるまらしい景観にきづく(庭先に色鮮やかな花のある景観)



野鳥に会えるのどかな風景に出会う

2) 景観をまもる

①自然、歴史・文化的景観をまもる

- ・本市には、自然海岸などの水辺や山並み、緑地などの美しい豊かな自然景観と、いにしへの面影を残すグスクや文化財、昔ながらの佇まいを残す集落などが生み出す歴史・文化的景観があります。それらの景観は、私たちの生活にうるおいと安らぎを与え、郷土に対する誇りと愛着を育てる市民共有の財産であることから、積極的にまもり、後世へと引き継いでいきます。



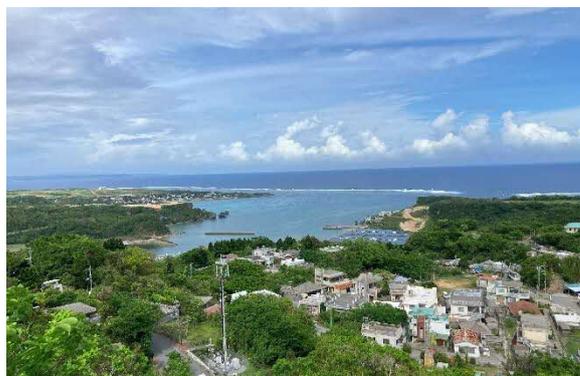
宇堅ビーチ(宇宇堅)



昔ながらの佇まいを残す集落(与那城伊計)

②多彩な眺望景観をまもる

- ・世界遺産である勝連城跡から中城湾、金武湾、島しょ地域への美しい眺めや、石川高原展望台、シヌグ堂バンタ（崖）などに代表される丘の上から海への眺め、自然豊かな山並みの眺めなど、うるまの景観の特長である緑と青のコントラストが美しい多彩な眺望を積極的にまもります。



宮城島の集落と海への眺望
(シヌグ堂バンタ(崖))



岡の上から眺めるゴルフ場と海への眺望
(石川高原展望台)

3) 景観をつくる

① うるまらしさをいかした景観をつくる

- ・地域の資源や風土をいかし、住んでいる人の心にうるおいと安らぎを与え、訪れる人を魅了してやまない地域性を活かした景観をつくります。また、長い時を経て先祖から受け継がれている伝統文化や暮らしに息づく生活習慣などについても地域の大切な要素として景観に取り入れます。



心安らぐ景観(干潟でのアオサ採り/与那城)



伝統文化や暮らしに息づく景観(平敷屋エイサー)

② シンボルとなる景観をつくる

- ・民間の大規模開発や公共施設の整備などに際しては、訪れる人がうるまらしさを感じられるような、シンボリックな景観づくりを進めます。特に人々の動線となる道路は、本市を印象づける「顔」となるため、本市の良好な自然景観、歴史・文化的景観、眺望景観に触れられる、魅力的な沿道景観づくりを進めます。



本市の代表的な観光地である
海中道路及びロードパーク(与那城)



世界遺産である勝連城跡(勝連南風原)

4) 景観をそだてる

①景観づくりの担い手をそだてる

- ・住民自らが主役と認識し、地域の景観に関心を持ち、どのような景観にしていくのかを考え、魅力ある景観づくりを実践していくことが大切です。そのため、市民、事業者、NPO、行政等各主体の景観に対する意識醸成や景観づくりに関する経験・活動の機会を増やすなど、景観づくりの担い手の育成に力を入れていきます。



景観まちづくり市民会議の検討風景



地域住民ワークショップでの検討風景

②協働による景観づくりを日常的な活動にそだてる

- ・景観づくりを進めるにあたっては、市民、事業者、NPO、行政等それぞれの主体が、自らの役割を認識し、相互に連携・協働して取り組むことが必要です。そのため、日常的に各主体が相互に協力し合い、協働による景観づくりが取り組めるような環境づくり等に力を入れていきます。



安慶名地区まちづくりの検討風景



地域による石川川での活動風景

5) 景観をいかす

① 「住んでよし訪れてよし」のまちづくりに景観をいかす

- ・良好な景観づくりの活動を広げることで、地域住民にとって美しく住みよいまちになるだけでなく、多くの人が行き交う、「住んでよし訪れてよし」のまちになります。うるまの美しい景観資源を資源から資産へと発展させ、地域の活性化、観光振興等にかす取り組みを進めていきます。



レジャースポットとなっている海中道路(与那城)



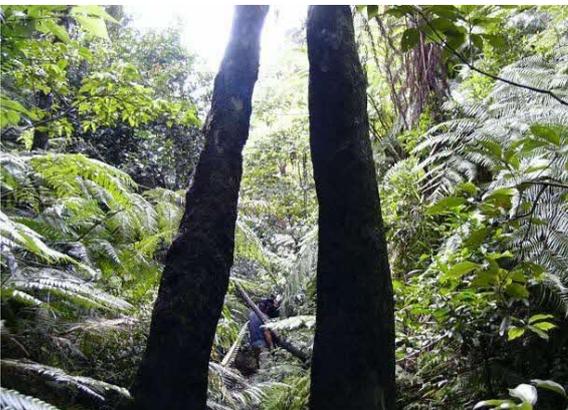
海の眺望と文化に触れられるあやはし館(与那城)



勝連城跡の歴史を伝える肝高の阿麻和利の舞台



本市のくらしに根付く闘牛(石川)



自然を楽しむ石川市民の森公園(石川)



自然を楽しむピオスの丘(石川山城)

3. エリア別方針

本市は自然・文化・歴史・まつりなど沖縄のあらゆる要素が凝縮された地域であるため、「リトル沖縄」と呼ばれることがあります。こうした多彩な地域特性を踏まえて景観づくりを進めるため、地理的条件、歴史的背景、生活圏としてのまとまりなどを考慮し、景観づくりの区域を5つのエリアに分け、景観づくりの方向性を示しました。

市民、事業者、行政が景観づくりに関わる取り組みを行う際には、該当するエリアの景観づくりの方向性に配慮することが求められます。

■エリア別方針図



1) 石川エリア



伊波城跡から山・市街地・海への眺望(石川伊波)



石川東恩納の自然海岸(石川東恩納)

①緑に囲まれた丘陵地、コンパクトにまとった市街地、青く広がる海からなる石川らしい景観をまもり、いかす

- ・東海岸と西海岸、そして石川地域特有の山・市街地・海の景観を望む石川高原展望台からの眺望をまもるとともに、景観づくりにいかします。
- ・地域のシンボルである伊波城跡については、伊波貝塚とともに史跡の歴史的な雰囲気を感じられる景観づくりを進めるとともに、その周辺に広がる眺望景観をまもります。
- ・戦中戦後の時代につくられた市街地の基盤目状の街路と敷地内の緑による良好な市街地景観をまもります。
- ・国道 329 号等の主要道路及びその沿道については、骨格別方針で位置付けるグスクロードとして、行きかう人々が快適さと魅力を感じられる景観をつくります。
- ・イッペー通りや南栄通り、モクマオウ並木など、美しい街路樹に彩られた沿道景観をまもり、そだてます。
- ・各集落にある拝所やカー、ヌチシヌジガマ等を、地域の伝統を伝える景観資源としてまもるとともに、これらを地域資源としてまちづくりにいかします。

②石川ビーチや石川川などの良好な自然景観をまもり、そだて、いかす

- ・緑と白い砂浜が残る石川ビーチの景観をまもります。また、石川ビーチの景観を、その周辺の石川公園などの施設とあわせて訪れる人々が憩い・楽しめる魅力的な資源として観光やレジャー等にいかします。
- ・石川川の河川機能を確保しつつ、川沿いのマングローブ等の緑や地域の外縁にある丘陵地や斜面地の緑など、まとまった緑は地域の貴重な自然景観としてまもります。また、石川川の水辺景観を、訪れる人々が憩い・楽しめる魅力的な資源として観光やレジャー等にいかします。
- ・山城の茶畑は、地域の貴重な田園風景としてまもり、そだてます。

2) 具志川エリア



新しいまちづくりが進む安慶名地区(宇安慶名)

①本市の中心市街地として快適でにぎわいのある街並みをつくり、そだてる

- ・地域で独自の景観づくりの取り組みを進めている安慶名土地区画整理事業地区をはじめとした具志川エリアの市街地については、良好な街並みをつくり、そだてます。
- ・主要道路及びその沿道については、骨格別方針で位置付けるグスクロードとして、行きかう人々が快適さと魅力を感じられる景観をつくります。特に、具志川の中心にあたる沖縄石川線沿道や、沿道の開発が進む具志川沖縄線、世界遺産である勝連城跡に向かうルートにあたる県道16号線等については、道路及びその沿道の緑化等により計画的に景観をつくり、そだてます。
- ・アカギ通りや桜並木など、美しい街路樹に彩られた沿道景観をつくり、そだてます。

②宇堅ビーチや天願川などの良好な自然景観をまもり、そだて、いかす

- ・緑と白い砂浜が残る宇堅ビーチや、自然のままで残る天願川及び天願川へ流れ込む支川とその周辺の景観をまもりまします。また、それらの自然景観は、訪れる人々が憩い・楽しめる魅力的な資源として観光やレジャー等にかします。
- ・照間のビーグ畑や兼箇段のキク畑等は、地域の貴重な田園風景としてまもり、そだてます。

③安慶名城跡などの地域に残る歴史・文化的資源をいかした景観をまもり、つくる

- ・歴史と自然を感じられる安慶名城跡をまもるとともに、その良好な景観を観光などの地域振興の資源としていかします。
- ・うふたびら大田坂など地域の歴史や文化を伝える資源を地域のくらしに息づく景観資源としてまもりまします。

3) 勝連半島エリア



屋慶名海峡(与那城屋慶名)



サーターヤーの煙突とホワイトビーチ(勝連平敷屋)

①勝連城跡に代表される高台からの緑と街並み、そして周辺に広がる美しい海を望む眺望景観をまもる

- ・世界遺産である勝連城跡の史跡の保全とともに、本市を代表する海、島しょ、半島の街並みなど、360°のパノラマが楽しめる勝連城跡の頂から望む優れた眺望景観をまもります。そのうち特に、勝連城跡から海中道路や島しょ方向の眺望をまもるため、その間の地域について、高さや形態などの規制・誘導を行います。また、勝連城跡周辺の集落は、世界遺産が持つ雰囲気と調和した街並みづくりを進めるため、景観法に基づく景観地区として指定しています。
- ・平敷屋タキノーから見たホワイトビーチや中城湾、津堅島への眺望をまもります。
- ・南風原、西原、平敷屋、屋慶名等の丘陵地や中城湾に面したホワイトビーチ、サトウキビ畑が広がる斜面地の緑など、まとまった緑は地域の貴重な自然景観としてまもり、そだてます。

②勝連城跡や海中道路に続く雰囲気を感じられる沿道景観をつくる

- ・県道16号線及びその沿道は、勝連城跡への玄関口としてふさわしい勝連城跡の歴史や自然を感じられる沿道景観づくりを推進するため、県道16号線や集落内市道等について景観重要公共施設として指定し、今後電線地中化など景観に配慮した整備を検討していきます。
- ・県道8号線、県道37号線等の主要道路及びその沿道は、骨格別方針で位置付けるグスクロードとして、行き交う人々が快適さと魅力を感じられる景観づくりを進めます。特に湾岸道路は、海中道路の入り口としての雰囲気が感じられる沿道景観をつくり、そだてます。

③地域の伝統や文化が色濃く残る生活景観をまもり、そだてる

- ・平敷屋にあるヒッチャマーなど、地域の伝統の核である拝所等の史跡をまもるとともに、エイサーなど地域行事などの伝統文化が生み出す風景も重要な地域の景観資源の一つとしてまもり、そだてます。
- ・ワイトゥイや饒辺橋など、地域コミュニティのシンボルとなっている史跡や、屋慶名防空監視哨、平敷屋に残るサーターヤーの煙突などの戦争の歴史を伝える史跡等をまもります。
- ・屋慶名地区の闘牛が盛んで牛がのんびり散歩する暮らしを重要な地域の景観資源の一つとしてまもります。
- ・かつてマーラン船も行き来した屋慶名海峡と藪地島の美しい景観をまもるとともに、この景観を地域振興の重要な資源としていかします。
- ・照間のビーグ畑は、地域の貴重な田園景観としてまもります。

4) 海中道路周辺エリア



海中道路及びロードパーク(与那城)



海中道路から平安座・浜比嘉への眺望(与那城)



海中道路から見た勝連城跡の方向に沈む夕日(与那城)



海中道路の夜景(イメージ/与那城)

①開放感を満喫できる優れた海の景観をまもり、そだて、レジャーやリゾート資源としていかす

- ・東洋一の長さを誇る海に連なる道である海中道路は、金武湾や平安座島、浜比嘉島、藪地島を望み、海浜と島の美しいコントラストを見ることができ、優れた眺望点としてまもりまします。
- ・海中道路とその周辺にある干潟、照間・屋慶名の海岸、藪地島などの海の資源や、牛の歩く景観など、その地域に根づく伝統文化や風土とのつながりを意識し、海中道路を中心とした独自の魅力をもった海の景観をまもり、そだてまします。
- ・また、開放感のある道路空間づくりや、レジャーへの活用、夜景の演出など訪れる人々が楽しめる工夫などを行い、景観資源としての魅力を高めつつ、本市の重要な観光資源としていかします。
- ・屋慶名や照間の湾岸道路沿道については、海中道路の入り口としての雰囲気を感じさせるような景観をつくり、そだてまします。

5) 島しょエリア

①個性豊かな美しい島しょ景観をまもり、いかす

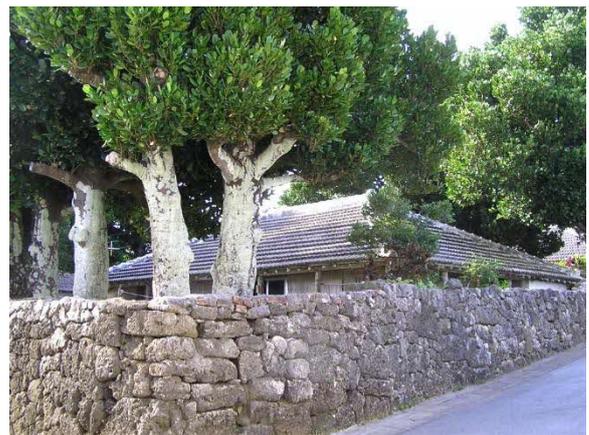
- ・海中道路をはじめとした橋や道路、航路でつながれた5つの島々においては、島々のつながりや島ごとの個性をいかした景観づくりを進めるとともに、その美しい景観を観光や地域振興の資源としていかします。
- ・島を取り囲む斜面地の緑などのまとまった緑は、地域の貴重な自然景観であるとともに、沖縄本島から望む緑豊かな島しょ景観の重要な構成要素であるため、計画的にまもり、そだてます。
- ・各島に残されているグスクや史跡、伝統的な集落等を地域資源としてまもり、いかします。



平安座島の高台からの眺望(与那城平安座)



浜集落から海への眺望(勝連浜)



伊計集落(与那城伊計)



シヌグ堂バンタ(崖)からの眺望(与那城上原)



津堅島の街並み(勝連津堅)

②「神の島」と呼ばれる浜比嘉島の自然と歴史に彩られた昔ながらの島しょ景観をまもり、いかす

- ・「神の島」と呼ばれる浜比嘉島においては、アマミチューやシルミチュー、シヌグ堂など島の歴史・伝統を伝える史跡をまもるとともに、史跡の雰囲気や阻害しないよう周辺の景観をまもります。
- ・比嘉グスクなどの高台や浜比嘉大橋から望む美しい海への眺望、昔ながらの集落景観、自然のままの美しい海岸など、浜比嘉島特有ののどかな景観をまもるとともに、その景観を観光や地域振興の資源としていかします。

③海とともにくらす人々が受け継ぐ平安座島の伝統・文化的な島しょ景観をまもり、いかす

- ・西部にコンパクトにまとまった集落と後背の斜面地の緑が織りなすのどかな島しょ景観と、海と産業が伝統文化と相まって生み出される漁業のまちとしての個性のある景観をまもるとともに、その景観を観光や地域振興の資源としていかします。
- ・島の東部の石油基地や島周辺の護岸等については、関係機関との協力のもと周辺との調和に配慮した景観をつくりまします。

④「たかはなり」と呼ばれる宮城島の壮観な眺望や昔ながらの自然・集落景観をまもり、いかす

- ・「たかはなり」と呼ばれる切り立った台地状の地形をなす宮城島は、シヌグ堂などの高台から集落や海を望む壮観な眺望をまもります。また、急崖の緑、手つかずの白い砂浜、昔ながらののどかな集落からなる島しょ景観をまもります。さらにこれらの景観は観光や地域振興のための重要な資源としていかします。
- ・シヌグ堂やヤンガーなど宮城島に残される島の歴史・伝統を伝える景観資源をまもります。

⑤のどかで自然豊かな伊計島の島しょ景観をまもり、いかす

- ・島を囲む美しい海や伊計ビーチ、大泊ビーチをはじめとした手つかずの白い砂浜、フクギ並木や石垣が多く残る伊計集落ののどかな集落景観、土地改良区の田園景観が織りなす穏やかな島しょ風景をまもるとともに、観光や地域振興の資源としていかします。
- ・伊計大橋の赤と橋から見る海の青のコントラストが美しい優れた景観をまもります。
- ・先史時代の歴史景観が復元された仲原遺跡の保存・活用を図り、観光や地域振興の資源としていかします。

⑥手つかずの自然が残る津堅島の島しょ景観をまもり、いかす

- ・青く澄んだ海や白い砂浜に代表される手つかずの自然とニンジン畑や漁業を営む人々のくらしが織りなすのどかな島しょ景観をまもるとともに、観光や地域振興の資源としていかします。
- ・島を取り囲む斜面地の緑などのまとまった緑は、地域の貴重な自然景観であるとともに、中城湾を隔てて沖縄本島から望む緑豊かな島しょ景観の重要な構成要素であるため、計画的にまもり、そだてまします。

■類型別方針の区分

| 類型別方針の区分 | 該当するエリア（用途地域など） |
|------------|--|
| 海・河川 | 海岸及び海岸から100mの内陸部、干潟、浅瀬 ただし、工業系用途地域と用途未指定地域（州崎）の沿岸は除く |
| | 河川から25mの範囲（天願川本線（内川除く）、石川川） |
| 緑・農地・集落 | 用途未指定地域（州崎及び与那城平宮を除く） |
| 商業地 | <区分ア> --近隣商業地域 ・住居系用途地域のうち路線型指定のもの --第二種中高層住居専用地域 --第一種住居地域 --第二種住居地域 --準住居地域 <区分イ> ・商業地域 <区分ウ> ・用途未指定地域（州崎） |
| 住宅地 | <区分ア> 住居系用途地域のうちエリア型指定によるもの --第一種中高層住居専用地域 --第二種中高層住居専用地域 --第一種住居地域 --第二種住居地域 <区分イ> --第一種低層住居専用地域 |
| 工業・大規模施設用地 | 工業系用途地域 --準工業地域 --工業地域 --工業専用地域 --用途未指定地域（与那城平宮） |
| 軍用地 | 米軍基地、自衛隊用地 |

1) 海・河川



具志川ビーチ(字具志川)



津堅島のトマイビーチ(勝連津堅)

①自然のままの海浜景観をまもり、いかす

- ・昔ながらの自然海岸、干潟、浅瀬は、本市の貴重な財産として自然のままの景観をまもります。
- ・ビーチについては、海浜レクリエーション・リゾート空間として観光資源としても活かせるような魅力ある景観づくりを進めます。
- ・海岸周辺の建築物等については、形態等の規制・誘導を行い、海の眺望景観をまもります。
- ・本市の特徴である緑と青のコントラストが美しい良好な眺望景観の資源として、海岸や海の環境をまもります。
- ・海の景観をまもるため、生活空間における環境配慮に努めます。



石川川(石川)



天願川(字赤野・天願・宇堅等)

②緑と水のうるおいのある河川景観をそだて、いかす

- ・天願川、石川川など、緑と水のうるおいのある河川景観をそだて、観光資源としていかします。
- ・河川景観をまもるため、生活空間における環境配慮に努めます。

2) 緑・農地・集落



野鳥の森公園(字宇堅)



ビオスの丘(石川山城)

①まとまって残る緑を自然景観や眺望景観の資源としてまもる

- ・丘陵地や斜面地に残るまとまった緑は、貴重な自然景観としてまもり、そだてます。
- ・本市の特徴である緑と青のコントラストが美しい良好な眺望景観の資源として、丘陵地や斜面地のまとまった緑地をまもります。
- ・人々にうるおいと安らぎを与える石川地域の山並みや金武湾を取り囲むように連なる緑の稜線をまもります。



照間のイグサ(ビーグ)畑(与那城照間・字照間)



山城の茶畑(石川山城)

②のどかな農業景観をまもり、そだてる

- ・農家の協力のもと、農地の適切な維持管理により、のどかな農業景観をまもります。
- ・照間のビーグ畑や兼箇段のキク畑などの特徴的な農業景観を地域の貴重な資源としてまもり、そだてます。



比嘉集落(勝連比嘉)



宮城島(与那城池味、上原、桃原、宮城)

③昔ながらの集落景観をまもる

- ・地域ごとの集落形成の歴史、固有の文化・植生等を踏まえながら、建築物等の高さ・形態等に関する規制・誘導により、昔ながらの風情を感じられる集落空間をまもります。
- ・街路樹の整備や日常の美化活動により、見て歩いて楽しく快適な沿道景観をつくり、そだてます。

3) 商業地



石川の商業地(石川)



具志川の商業地(字江洲)

①個性とにぎわいのある景観をつくる

- ・建築物等の形態等に関する規制・誘導や、地域の雰囲気合った屋外広告物の大きさや色の規制などにより、個性とにぎわいのある商業景観をそだてます。
- ・建築物等の壁面や屋上の緑化、敷地内の緑化、街路樹の整備などにより、緑豊かでうるおいのある商業空間をつくります。
- ・中心市街地の高度利用を図るコンパクトシティの形成を目指し、高層建築物の誘導を行います。

4) 住宅地



江洲の住宅地(字江洲)



勝連内間の住宅地(勝連内間)

①人々の暮らしを重視した快適で安らぎのある住宅地景観をつくり、そだてる

- ・地域ごとの市街地・集落形成の歴史、固有の文化・植生等を踏まえ、建築物等の形態等に関する規制・誘導により、地域特性にあわせた住宅地景観をつくります。
- ・地域にゆかりのある樹木や緑を保全するとともに、建築物等の壁面や屋上の緑化、敷地内緑化などの緑を増やす取り組みにより、暮らしにうるおいと安らぎのある景観をつくります。
- ・街路樹の整備や日常の美化活動により、見て歩いて楽しく快適な沿道景観をつくり、そだてます。

5) 工業・大規模施設用地



石川火力発電所(石川赤崎)



中城湾港新港地区工業団地(宇州崎)

①周辺地域との調和に配慮した景観をつくる

- ・工業・大規模施設用地においては、建築物等の形態・配置等に関する規制・誘導により、周辺地域の自然や街並みと調和した景観をつくります。
- ・建築物等の壁面や屋上の緑化、敷地内緑化の推進や、周辺景観との調和を考慮した形態・意匠の導入等により、無機質になりがちな工業・大規模施設用地内の景観にうるおいをつくります。
- ・経済特区として指定されている州崎地区を始めとする市内工業地域は、経済振興や雇用創出の重要な地域であることから、良好な景観形成を図りつつ、今後の本市の産業動向に柔軟に対応できる土地利用とします。

6) 軍用地



キャンプコートニー(宇天願)



自衛隊(勝連内間)

①基地内に残された良好な景観をまもるとともに、周辺地域との調和に配慮した景観をつくる

- ・基地施設については、関係機関との協力のもと、周辺地域との調和に配慮した景観をつくります。
- ・基地内に残された緑や歴史・文化的資源は、貴重な景観資源として関係機関との協力のもと、まもります。

1) 拠点

(1) シンボル景観拠点



勝連城跡(勝連南風原)



海中道路及びロードパーク(与那城)

- ・本市の景観シンボルとなる特に優れた美しい景観を有する資源とその周辺を位置付けます。
- ・拠点づくりにおいては、その中心となる施設及び史跡等の適切な保全・管理等を行い、魅力的な視点場づくりに取り組みます。あわせて、視点場周辺での地域特性に応じた建築物等の高さ・形態・配置等の規制・誘導により、視点場からの眺望景観を積極的にまもります。

■勝連城跡

■海中道路

(2) 眺望拠点



石川高原展望台(石川山城)



シヌグ堂バンタ(崖)からの眺望(与那城上原)

- ・地域を代表する優れた眺望をもつ視点場とその周辺を位置付けます。
- ・拠点づくりにおいては、その中心となる施設及び史跡等の適切な保全・管理等を行い、魅力的な視点場づくりに取り組みます。石川高原展望台及びシヌグ堂バンタ(崖)の2カ所については、眺望点に応じた建築物等の高さ等の規制・誘導により、視点場からの眺望景観を積極的にまもります。

■伊波城跡及びその周辺

■安慶名城跡及びその周辺

■石川高原展望台及びその周辺

■石川岳及びその周辺

■野鳥の森公園及びその周辺

■喜屋武マープ公園及びその周辺

■屋慶名展望台及びその周辺

■たかはなり、シヌグ堂及びその周辺

(3) 街並み創造拠点



安慶名地区(宇安慶名)

- ・市民、事業者、行政等の協働による取り組みによって魅力的な街並みがつくられ、本市の景観づくりを牽引する役割を担う拠点を位置付けます。
- ・拠点の景観づくりにおいては、独自に作成した景観ルールや地域意向等を踏まえつつ、景観地区や地区計画などの都市計画制度との連携により、より実効的で継続性のある景観づくりに取り組みます。

■安慶名土地区画整理事業区域

(4) 伝統的集落保全拠点



比嘉集落(勝連比嘉)



伊計集落(与那城伊計)

- ・昔ながらの古民家、石垣、植栽などで形成される伝統的な集落景観が残る地区を位置付けます。
- ・景観づくりにおいては、伝統的な様式を活かした建築物等の保全・復元その他、石垣、屋敷林、あしびな一、拝所等の集落内にある資源、道路の形状や資源等の配置、集落内に組み込まれている自然的な要素など、伝統的な集落空間を構成する全ての要素を総合的に捉えた景観づくりに取り組みます。

■浜集落

■上原、宮城、池味集落

■比嘉集落

■伊計集落

2) 軸

(1) 環金武湾景観軸



宇堅ビーチ(字宇堅)



与那城照間の海岸(与那城照間)

- ・金武湾を取り囲む沖縄本島東海岸周辺や島しょ地域を位置付けます。
- ・金武湾周辺の海を中心とする美しい景観をまもるため、周辺自治体と連携しつつ、海岸沿いの建築物等に関する高さ及び形態等に関する規制や、島しょ・沖縄本島に残るまとまった緑の保全等に取り組めます。
- ・東海岸から見る金武湾と朝日の眺望を景観づくりや観光資源としていかします。

■金武湾に接する海岸とその周辺

(2) 環中城湾景観軸



勝連城跡からの眺望(勝連南風原)



津堅島の砂浜からの眺望(勝連津堅)

- ・中城湾を取り囲む沖縄本島東海岸周辺を位置付けます。
- ・中城湾周辺の海を中心とする美しい景観をまもるため、周辺自治体と連携しつつ、海岸沿いの建築物等に関する高さ及び形態等に関する規制や、島しょ・沖縄本島に残るまとまった緑の保全等に取り組めます。

■中城湾に接する海岸とその周辺

(3) グスクロード



県道 16 号線(勝連城跡手前/勝連南風原)



沖縄環状線(字江洲)

- ・伊波城跡、安慶名城跡、勝連城跡などのグスクを結び、今も沖縄本島地域で生活や活動する人々の動線を中心となる主要道路を位置付けます。
- ・景観づくりにあたっては、背景にある歴史的・文化的要素や周辺地域の特性を考慮し、沿道の緑化誘導や修景を進め、快適で魅力ある道路景観づくりに取り組みます。

- 国道 329 号線
- 沖縄石川線
- 県道 6 号線
- 県道 8 号線
- 伊計平良川線
- 沖縄環状線
- 具志川沖縄線
- 県道 16 号線
- 県道 37 号線

(4) あやはしパールライン



海中道路(与那城)



伊計大橋(与那城伊計)

- ・真珠（パール）のような美しい島々を結ぶ道路及び橋を位置付けます。
- ・景観づくりにあたっては、周辺の美しい海や豊かな自然環境、伝統的な島しょの集落景観等を踏まえ、沿道の緑化誘導や修景を進め、快適で魅力ある道路景観づくりに取り組みます。

- 伊計平良川線
- 県営農道

(5) 緑の骨格軸



石川の丘陵の緑(石川)



勝連半島の稜線(与那城など)

- ・本市の自然景観の骨格となる稜線とまとまった緑地等を位置付けます。
- ・稜線や緑地周辺で行われる建築・開発行為等については、稜線のスカイラインを乱さないよう高さや配置等への配慮を促すとともに、緑の保全や回復のため、積極的な緑化を誘導します。
- ・また、風致地区などの緑地保全のための制度等と連携しつつ、残された緑を計画的にまもります。

- 石川高原展望台付近から山城、楚南方面へ伸びる稜線、嘉手苅から伊波城跡、昆布方面へ伸びる稜線及びそれらを取り巻く石川丘陵部一帯の緑
- 江洲・高江洲から南風原、勝連城跡、平敷屋方面へ伸びる稜線とその周辺の緑
- 藪地島の高台とその周辺の緑
- 平安座島を南北に縦断する稜線とその周辺の緑
- 浜比嘉島の高台及び斜面の緑
- 宮城島の高台を取り巻く稜線とその周辺の緑
- 伊計島の外縁の稜線とその周辺の緑
- 津堅島の外縁の周辺の緑

6. 重点地区の方針

重点地区は、本市を代表する優れた景観を有し、その優れた景観が観光などの資源として地域振興に寄与する可能性が高いと見込まれる地区を指定します。また、重点地区に指定された地区は、全市の景観づくりに先駆けて景観誘導を進めるため、本市の景観づくりを牽引する役割を担います。

重点地区は、必要な事業・支援策等を導入する一方で、類型別に指定する「景観づくりの基準（第5章を参照）」に基準を上乗せすることから、対象地区に関わる市民、事業者等の景観づくりに対する意向が重要になります。重点地区は、景観計画策定時に対象となる候補地を選定し、対象地区に関わる市民、事業者等の意向を踏まえ、実現に向けて検討を進めます。

1) 候補選定にあたっての考え方

重点地区の候補として市民及び庁内の意見を踏まえ、以下の5地区を抽出しました。（策定時は6地区）これらの候補地区については、地区の意欲や景観誘導の必要性の高い地区から順次取り組みを進めていきます。

重点地区候補地以外の地区については、地域意向や熟度に応じて重点地区候補地に加えて取り組みを後押しします。

2) 重点地区の候補

(1) 勝連城跡及び海中道路周辺地区

- 勝連城跡及び海中道路周辺地区は、世界遺産である勝連城跡と東洋一の長さを誇る海中道路という本市を代表する景勝地を中心としたエリアです。2つの景勝地からは平安座島などの島々や、海・緑に囲まれた優れた眺望、自然景観が広がり、訪れる人々の心を魅了してやみません。このエリアにおいては、市を代表する観光地としての魅力を高める上でも、資源周辺の環境保全、景勝地の周辺にふさわしい街並みづくりなどが強く求められています。



勝連城跡から海中道路への眺望

(2) 浜比嘉島地区

- 浜比嘉島は「神の島」とも呼ばれ、神話にまつわる史跡が数多く残されています。また本市でも数少なくなつた伝統的な建物様式を有する集落や昔ながらのどかな島しょ景観が残っており、本市の原風景となるこの景観の保全が求められています。また、こうした景観の良さと本島と橋梁等で結ばれている利便性の高さから、リゾート開発の計画がしばしば持ち上がっています。島の活性化を考慮しつつ良好な景観を保全するため、島民の意向を踏まえた計画的な景観づくりが求められています。



浜比嘉島

(3) 宮城島地区

- 宮城島は切り立った台地上の地形から「たかはなり」とも呼ばれています。高台からの眺望や、本市でも数少なくなった伝統的な建物様式を有する集落、手つかずの美しい海岸など、のどかな島しょならではの良好な景観が残っており、本市の原風景となるこの景観の保全が求められています。また、こうした景観の良さと本島と橋梁等で結ばれている利便性の高さから、リゾート開発等の計画がしばしば持ち上がっています。島の活性化を考慮しつつ良好な景観を保全するため、島民の意向を踏まえた計画的な景観づくりが求められています。



宮城島

(4) 伊計島地区

- 伊計島は本市でも数少なくなった伝統的な建物様式を有する集落や、島を囲む美しい海、手つかずの砂浜など、昔ながらののどかな島しょ景観が残っており、本市の原風景となるこの景観の保全が求められています。また、こうした景観の良さと本島と橋梁で結ばれている利便性の高さから、リゾート開発等の計画がしばしば持ち上がっています。島の活性化を考慮しつつ良好な景観を保全するため、島民の意向を踏まえた計画的な景観づくりが求められています。



伊計島

(5) 伊波城跡周辺地区

- 伊波城跡周辺地区は、伊波城跡とそこから望む周辺市街地からなります。伊波城跡は県指定文化財に指定され、古琉球時代の面影を今に残しています。また、その近傍には、国指定文化財の伊波貝塚もあり、歴史的な雰囲気を感じられるエリアとして多くの観光客が訪れています。また、高台にある伊波城跡から眼下に広がる市街地の眺めは、市民にとっての原風景ともなっています。歴史景観と眺望景観を活かしたこのエリアの魅力を高めるためにも、資源周辺の街並み保全、史跡周辺にふさわしい街並みづくりなどが求められています。



伊波城跡周辺

【重点地区候補の進捗状況】

景観計画策定後の平成27年10月に「勝連城跡及び海中道路周辺地区」の一部区域にあたる「勝連南風原地区」、また平成29年10月に「浜比嘉島地区」の一部区域にあたる「勝連浜比嘉地区」が景観法に基づく景観地区の指定を受けたこと、さらに令和5年10月に「伊計島地区」の一部区域が重点地区の指定を受けたことから、重点地区候補の変更を行います。

今後も引き続き、地域から重点地区及び景観地区指定に関する要望等があった際には、取組支援を行います。

■重点地区候補の位置図（案：各地区の対象範囲は、地域の意向等を踏まえて今後検討していきます）

